

令和7年度 児童館事業年間活動報告書 (京都市修学院第二) 児童館

令和7年度 児童館事業年間活動報告書										参 加 人 数		内 容		成 果 と 課 題	
活動名	実施回数	小1～3年				小4～6年				ポランティア		合計			
		男	女	男	女	男	女	男	女	中高生	大人				
けん玉クラブ	11回	135		8		12						155		けん玉を通して誰かのできた喜びをあえるような関係性を育む機会を、技を磨く、卓球を通して仲間作りを行う、大会に向けて練習する	昨年度から取り組んでいる「もしかぬ」を今年度も引き続き取り入れようとしたが、メンバーが初心者が多く、なかなか昨年度のようににはいけなかった。ただ、新入部の子を中心に年2回のステージ発表や、大皿1発兼せ等にチャレンジできたことはこども達の自信につながったと思う。
		17	37	35	16	1	9	1				116		今年度は日程の都合上、他館所との交流試合が2回（なかよし卓球含む）のみとなった。また、日々の練習でも内容がマンネリ化しているように感じられた。また、指導する側の職員の力量もあるもので、次年度に向けては職員とともに指導していただけるポランティアを募り、こどもが技術的な上達を感じられるようにしていきたい。	
卓球クラブ	18回													卓球クラブでの成果を継続する場としての役割づけで開催した。他館の子ともたちと試合をし刺激を受ける子どもは多かった。交流大会は子どもたちにとって良い刺激になると思うので、引き続き近隣館所とや福協館との交流大会は実施していきたい。	
3ブロックなかよし卓球大会	6月14日			1	2	1						4		卓球を通して他館と交流をする。	
5館合同卓球交流大会	12月13日		14	3	23	1		9		3		53		1か月に2～3日間通塾で行い、玄關前に毎月掲示を行った。また、検定日を設けたことで、こども達も意欲的に取り組みが見られた。今年度も作品を見に来る保護者から「今日はこんな作品を作ったんですね」と関心を寄せる声が多く好評だった。	
折り紙クラブ	37回			308						7		315		今年度も作品を見に来る保護者から「今日はこんな作品を作ったんですね」と関心を寄せる声が多く好評だった。	
きりえクラブ	24回		21	41	11	6						79		今年度も人数は少なかったが、重中として作品づくりに取り組み児童が多かった。メンバー募集の際「2年生以上で練習組むが出来る児童」を対象としたため、ケガをしない程度の手先の器用さは担保できよかったので、引き続き制限を設け取り組んでいきたい。	
太鼓クラブ	25回		33	38	15	4						90		興味を持って参加する児童が多かったが、年間を通して練習する演目が『まつり太鼓』のみだったため、参加者のモチベーションを維持することが難しかった。次年度に向けては指導する側の演目のバリエーションを増やし、こども達が興味をもって練習して欲しい。	
修二寺子屋（囲碁・将棋）	20回		5	320	5	17				30		377		今年度も将棋を取り組みとして導入した。1年生は囲碁と将棋の選択式、2年生以上は希望者のみとしたことでやる気のある児童が集まり、毎回欠かさず参加する児童が多かった。特に将棋は3年生のやる気はかなり高く、自由遊びでも取り組み委が多く見られた。次年度は囲碁曜日やポランティア育成などを検討していきたい。	
寺子屋囲碁大会	8月7日			15						2		17		囲碁の日頃の取り組みの成果を出す	8月に1年生のみ、3月にクラブ全員での大会を行った。1年生は秋頃から希望制になるため、やる人が出ること考慮し整備に大会を新たに追加した。実力差もあるため1年生にとっては自分の実力を磨ける良い機会になったが、2年生以上から自分たちもやりたかったとの声もあったため、来年度は検討が必要。
	3月5日			13						2		15			
寺子屋将棋大会	8月21日			14						2		16		囲碁大会と同じく、3月にクラブ全員での大会を行った。また、北野天満宮の大会に今年度も参加。本戦に向は、12月に他館との交流大会を行い、1月に館内にて予選会を開催した。本戦に出場した人にも、寺子屋活動の中で良い目標となっていた。来年度もぜひ続けたい。	
	3月19日			6		2				2		10			
交流大会	12月13日		4	4	3	2						13		卓球やけん玉などの面白い方（遊び方）の授けかけや、マンカラ大会などに向けてのルール説明、簡単な工作など、日常遊びの幅を広げるための役割づけで開催した。1年生には特に遊びの紹介などの面で好評だったが、2年生以上は「既に知っている」「見るだけだからつまらない」との声が上がった。教える・発表する時間を設けるなど2年生以上も楽しめる・活躍できる取り組みを増やしていきたい。	
予選会	1月22日			5		2				1		8		けん玉、クラブゲーム、おままごとなどの決定を通じて自分の実力を確かめる機会とするため実施。参加者は毎回多く好評だった。日常遊びの中で練習するということより、特定の日にだけ練習してみようという単発的なものになってしまっていた。来年度は日常遊びの中でも練習したい、もっと出来るようになるためにに思える取り組みとなるよう工夫が必要。	
わくわくデー	13回	1	3	449	1	43		1				498		夏と春に大会を実施。今年度の1年生は日常遊びの中で自選でマンカラを行う椅子がなく心配していたが、夏の大会は2年以上がやる気をもって参加する人が多かったため盛り上がりだった。冬の大会は希望制としたが、参加者が少なかったため、トーナメントではなく、リーグ戦にして存分にマンカラを楽しんだ。	
チャレンジデー	12回			128	1	10						139		毎月の取組ではあるが、普段の遊びの中とは違うお友達とペアになり大会を行うので運に左右される部分もあるが、及達の幅を広げる、強い子とペアになれば勝ち上がりえる可能性があるというのは、このカラム大会ならではの良さだと思うので今後も続けていきたい。ただ、参加者が増え試合数が増えるため、全員参加で行うことに難しさを感じた。次年度は検討が必要。	
館内マンカラ大会	8月22日		1	61		5						67		もしもの時に備えての火災、地震、水害などを想定した訓練を実施。毎年だが、訓練という事もあり遊び半分で遊んでいる子どもも数名いたが全体では良かった。このようにすれば自分の身を守れるのか、守るためにはどうしたらいいのかを子ども達に伝えるいい練習となった。次年度もより実践に即した内容になるように検討しながら定期的に訓練を行っていく。また、地域の壮士や消防団、自主防などとも連携をとり、協力を得ながら行えるので、次年度以降も同じように進めていきたい。	
新香カラム大会	3月23日		1	9		4								夏休み明けの出かけに出来ない人にも特別な経験ができる機会として来年度も続けたい。	
避難訓練	1月6日			57	2	7						66			
避難訓練	12回	16	8	522	9	61		7	32	1	7	663		災害時に備え、避難の方や避難経路の確認を行う	
映画会	8月6日	1	1	73	1	14		1				91		夏休みの思い出作り	

基本活動

1

推進活動	お守りづくり	8月22日		30	1	1					32	地域の文化に親しむ	大文字の旗を入れたお守りづくり。職員が旗をもちまわって、児童が折り紙で入れ物を作るといったもの。毎年楽しみにしている子どももあり、多くの参加者が集まった。地域の文化を知り、親しむという面でも続けていきたい。
	一乗寺フェス楽器作り	2回	9	22	3	5			15		54	地域のお祭りへの協力	土曜日に全2回開催。大学生に来ていただき、材料などを使って楽器を制作して音楽遊びを行った。参加した児童には好評で、後日同じものが作れる地域のお祭りにも参加してきたとの声もあった。地域の方との繋がりを深めるといふ点でも続けていきたい。
	やんちゃフェスタ引率	10月25日		8		1					9		約6年ぶりに梅小路公園で開催された「京都やんちゃフェスタ&ミニ・ミュンヘン」に土曜日出席の児童を連れて参加。秋空の下、一日お祭りを楽しんだ。
	じどうかんまつりスタッフ会議	8回		20	25	50					95		児童館まつりに向けて夏休み前にスタッフを募集し、まつり当日に向けて積極的に会議を開きコーナーの立案、準備を行った。昨年度経験した子が多く、上手にリーダーとなり周りを引っ張って行く姿がみられた。
	じどうかんまつり	9月27日	31	43	86	11	17	90		6	284	保護者・学童児、どうろんにサークル、民生委員や社協による企画など	今年度は子ども中心のまつりをテーマとした。3年生以上の高学年スタッフや子ども自身も参加したコーナーの展開など、ことまの意見を多く盛り込んだまつりとなった。初めての取り組みで戸惑う部分もあったが、高学年スタッフのほとんどが「またスタッフをやりたい」「楽しかった」と話していた。来年度もぜひ続けていきたい。
	みんなの音楽会	11月8日		5	1						6	地域の方との交流の機会を得る	今年度も地域の音楽祭に参加。太鼓クラブのメンバーはまつり太鼓の発表を行った。初年前半の部のみ見学していたが、今年度は希望者のみ後半の部も見学した。大人の和太鼓演奏など初めて見る項目も多く、興味を持った児童も見られた。しかし開催時間が長く、希望して見学したものの疲れてしまったという児童も見られたため、来年度は検討が必要。
	クリスマス会	12月20日	16	30	14	6	2	17	9	4	102	職員の出し物、集団遊び等	小学校の体育館を借りて開催。各クラブの発表の場や音楽の演奏などできないみんな遊びの機会として子どもたちも楽しんで参加していた。最後には職員がサンタクロースになり、子どもたちにプレゼントを渡すなど、とても盛り上がった。来年度以降も内容を検討しつつ、子どもたちが楽しめる機会としていきたい。
	大掃除	12月26日		1	67	2	9				79	館内の清掃を通じて児童利用している場所への感謝の気持ちを育む	今年度もおもちやの水拭きなど掃除をより細かく全員でできる内容で行った。年に一度ではあるが、全員参加で行うことで、「自分達の児童館」を認識する良い機会となった。
	七輪体験	1月10日	1	16	1	3	3				26	地域の方と一緒に七輪の使い方を和り、実践する	地域の社会福祉協議会の方の指導、協力のもと七輪を使ってお餅などを食べたり、雪の生活について学ぶ機会となった。実際に火をつける所を和たりお餅が出来上がるのを見る貴重な経験となった。今回も綿密さと絡めてお餅を出すのが好評だったので来年度以降も実施していきたい。
	エクセレント修学院との交流	年3回		1	34	3	32				70		今年度より交流を開始。びん玉のステージ発表、お芋玉、折り紙と一緒に楽しむなどの交流を行った。なかなか普段接することのできない世代間の交流の機会として、次年度以降も続けていきたい。
	あそびの発表会	2月28日	9	31	15	8	45				108	クラブ活動の1年間の成果を発表する	入会説明会と同日に行なったことで保護者の参加も多く、1年間の活動の成果を発表出来た。クラブの活動を外の人に見てもらえる良い機会となり、この行事を通してクラブに興味を持った児童も多く見られた。来年度もぜひ開催したい。
	ドッジボール大会	3月26日		62	3	8					73	38ドッジボール大会	例年通り、出席児童は全員参加を基本として取り組んできたが、出たぐない子や参加人数が多くなり、引率及びチーム編成が年々難しくなってきた。また、出場する子のレベル差も激しく、きちんと練習して参加している他館との実力差を考えると、希望者のみでチーム数を絞った方がよいのではと感じる。次年度については要検討。
	合計		74	229	2614	168	302	7	242	10	34	64	3744
	学習支援活動	毎月2～3回			603						31	大学生による学習指導の機会提供	学生が急遽来れない日があるなど、なかなか計画通りに進めることが難しくかった。学生が来れないときは職員が入るなどし、子どもたちの学習機会の確保は出来ていたので、次年度も急な時は同じような対応で行っていきたい。学生のボランティアが少ないため、近隣の大学に積極的に声をかけ、学生を募っていききたい。
	合計												8108
子ども育成機能 合計			148	458	5831	336	604	14	484	20	99	128	16216

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。

推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。

指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

(京都市修学院第二)見 童 館

昭和七年兒童館事業活動報告書

(京都市修学院第二)児童館

[illegible]

※付 基本活動は、按針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動(乳幼児クラブ活動 (2)家族参加を促す活動に分類して記入すること。

令和7年度 児童館事業年間活動報告書 (京都市修学院第二) 児童館

地域福祉促進機能	基本活動	組織名称			構成団体・個人	会議／取組頻度	議題／取組内容	成果と課題
		修学院第二民生児童委員協議会	保健福祉センター子どもはぐくみ室との連携	保健福祉センター				
	(4) 児童館を支える地域組織作り	修二学区社会福祉協議会		会長ほか	毎月2回と年間不定期で約5回		子育てサロン「ぞらいろ」や左京の地域の会議に共に参加。 月1回広報を置く。 左京中児童子ふれあい広場の共催。 「修二寺子屋」の実施。昔の生活に触れる事業の実施。	年2回程度、子育て講座の講師として職員を派遣してもらっている。 協議会の方々の力をお借りして、「修二寺子屋」を実施。開基・環桃の殿組で、子ども達の成長につながっている。
	推進活動	会場提供・備品貸出等			使用目的	提供先（団体・機関等）	成果と課題	
	(6) 地域調査活動							
		調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題	

令和7年度 児童館事業年間活動報告書 (京都市修学院第二) 児童館

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	児童館のしおり 児童館だより	1回 毎月	児童館来館者 児童館来館者と小学校生徒お よび地域の役員の方々に配布 さらに子ども支援センター、近 隣保育園・保育所にも配架	児童館来館者に配布 児童館来館時に配布と、小学校 より全家庭に配布	当児童館の利用案内、避難経路の周知 毎月の活動内容の案内	当館独自の利用方法、避難経路について記載。 イベント等を知っていたただく機会であり、今後 も配布は継続。毎月季報に合ったイラストを載 せたり、見やすさを意識したおたよりとなるよ う工夫した。
	各登録制ひろばの案内	毎月	児童館来館の乳幼児とその保護者お よび各ひろば登録の乳幼児親子	外掲示板・遊戯室・玄関に設置	毎月の活動内容の案内	乳幼児親子の目に留まる場所に掲載していた事で多 くの参加者が集まった。また、児童館だよりなどにも 掲載しているため新規の方も多かった。次年度も 引き続き継続していく。
	子育てサロン「そらいろ」の案内	毎月	児童館来館の乳幼児とその保護者	児童館玄関・遊戯室に設置	毎月、開催日と活動内容を掲示	児童館にチラシを置いているがそれだけではなく児童 館だよりにも掲載していたので多くの乳幼児親子 が参加していた。今後は、活動の様子Instagramに あげるなど児童館としてもPRを行っていきたい。
	各イベントのポスター	適宜	児童および地域住民	掲示板、遊戯室、図書室等に掲示	開催日、活動内容等のお知らせ	子どもたちは、掲示板を見たりしてイベントに参加 していた。
	関係機関・保育所等からのチラ シとポスター	随時	児童館利用者	玄関、館内掲示板に設置	各機関からの案内	ポスターは見やすさを意識し掲示を行った。そ して期間が終われば、忘れずにはずすようにし た。チラシはカウンター、ラックに設置した。
	Instagramの活用	随時	児童館利用者及び、地域住民	Instagram	お便りの掲載や活動の様子の子の周知	保護者世代に気軽に见てもらえるツールを活用 することで、児童館の活動を周知することにつ ながっていたが、IP作業を特定の職員のみで 行っていたため、次年度の向けては職員誰もが できる環境を整えていく必要がある。